

ねんりん

みなみ

第40号

会 報 「ねんりん みなみ」
発行日 令和5年2月1日
発行所 栃木県シルバー大学校
南校 学生自治会
発行者 学生自治会会長
鈴木 浩

シルバー大学校と自治会

学生自治会会長 鈴木 浩



栃木県シルバー大学校の目的は、高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を築くため、積極的に地域活動

を実施する高齢者を養成することにあります。そのための学生自治会の役割は、学校行事を有意義で楽しく充実したものにし、且つクラブ活動を全員が楽しめる生きがいにつながるものにしていくことにあると思います。

学校行事 懇親（新年）会・レクリエーション大会・南校祭（演奏会・学校祭）の各実行委員会、実行委員が「個の力」を発揮し、且つ団結し、行事の実施内容を検討し運営できるようにするための環境づくりが、微力ですが私の務めだと思っています。

クラブ活動は、令和四年十一月現在、二十七あります。私自身、五つのクラブに所属していますが、活動を充実させることにより、一生の活動（生きがい）にすることが出来ます。学生のクラブ活動参加を強力に推進し、自治会としては各クラブへの助成は勿論、新設も積極的に支援したいと思っています。

「人生百年時代」と呼ばれます。平均寿命は、私が生まれた一九五〇年代に比べ、なんと二十歳も伸びているのです。定年が六十五になっても、その後の第二の人生は長く、その期間を燃え尽き症候群のまま生きるか、生きがいを持つて生きるかで、人生は大きく変わると思います。「たったひとりしかない自分を、たった一度しかない一生を、ほんとうに生かさないか。」山本有三「路傍の石」での言葉です。シルバー大学校での二年間が、この「ほんとうに生かす」ためのきっかけになればと思います。

コロナ禍は未だ収まりません。ウイズコロナは否か応でも実践しなければなりません。そのために、全員がガイドラインを順守し、且頃の意識付けを徹底することにより、少しでも早くコロナを収束させましょう。



「四大イベント」に参加しよう

学生自治会副会長 手塚代志子

みなさん、こんにちは。シルバー大学校南校には四大イベントがあります。目的は、学生間の交流・融和・親睦です。では、紹介していきますね。

一、懇親会

予定日 令和五年 一月十五日（水）
場所 サンプラザ

二、レクリエーション大会

予定日 令和五年 四月十日（月）
場所 栃木市総合運動公園体育館

三、南校祭（二〇二二） 演芸会

予定日 令和五年 七月二十九日（土）
場所 栃木市栃木文化会館小ホール

四、南校祭（二〇二二） 学校祭

予定日 令和五年 八月五日（土）
場所 シルバー大学校南校

さて、一、では、学生間の距離を会話で近づけましょう。二、は、学科・グループ対抗戦によるスポーツ競技を行い仲間意識を高めましょう。三、は、学科・グループ・各クラブの成果を発表します。四、は、チャリティーバザーや文化系の各クラブの展示などがあります。

コロナ禍の中、予定日通りに開催できるか不安要素はありますが、それぞれのイベントに積極的な参加を致しましょう。



令和4年7月30日 第42回学校祭



令和4年4月4日 第14回レクリエーション大会

目 次

区 分	掲 載 項 目	氏 名	役 職 等	掲載頁
	シルバー大学校と自治会	鈴 木 浩	学生自治会会長	表紙
	「四大イベント」に参加しよう	手 塚 代 志 子	学生自治会副会長	〃
	目次			
	「これから」	荒 井 勝 治	教務部長	1
	令和四年度の活動計画等	笹 倉 政 雄	会誌会報編集委員長	1
	令和四年度の活動計画について	只 木 弘 子	社会奉仕委員長	1
四 学 三 習 期 紹 生 介	A シルバー大学校に入学して	永 島 保 男	チーフ班長	2
	B シルバー大学校への期待	板 子 喜 好	チーフ班長	2
	C ボランティアは人のためそして自分のため	中 田 博	チーフ班長	3
	D シルバー大学校に入学して	松 岡 勝 春	チーフ班長	3
	E シルバー大学校に入学しての抱負	大 谷 巧	チーフ班長	3
ク ラ ブ 活 動 紹 介	パソコン	市 村 典 子	部 長	4
	囲碁・将棋	小 森 一 彦	部 長	4
	書 道	長 谷 川 祐 二	部 長	5
	絵 画	田 澤 志 津 江	部 長	5
	社交ダンス	関 谷 清 一	部 長	5
	陶 芸	手 塚 代 志 子	部 長	6
	卓 球	鈴 木 浩	部 長	6
	写 真	小 曾 戸 房 雄	部 長	6
	カラオケ	板 橋 幹 夫	部 長	7
	ゴルフ	小 林 恒 雄	部 長	7
	ソフトボール	谷 中 吉 夫	部 長	7
	コーラス	須 賀 保 典	部 長	8
	フラダンス	伊 藤 由 美 子	部 長	8
	ウォーキング	橋 本 誠	部 長	8
	民話・語り部	小 林 義 男	部 長	9
	絵手紙	中 村 稔	部 長	9
	俳 句	日 向 野 好 司	部 長	10
	民 謡	五 十 畑 さ ち	部 長	10
	蕎麦打ち	森 勝	部 長	10
	アフリカン&レッツダンス	橋 本 峰 子	部 長	10
	ギターハーモニー	永 島 清 次	部 長	11
	盆ダンス	阿 部 道 子	部 長	11
	山を歩こう	高 瀬 政 夫	部 長	12
	竹 絵	岩 崎 和 幸	部 長	12
	ターゲット・バードゴルフ	大 高 光 雄	部 長	12
	太極拳	本 橋 昭 夫	部 長	13
	健康マーじゃん	本 田 行 雄	部 長	13
学 生 文 芸 紹 介	四 二 期 生			
	「俳 句」			14
	「川 柳」			16
	「短 歌」			17
	四 三 期 生			
	「俳 句」			18
	「川 柳」			21
	「短 歌」			23
	学校職員・自治会役員・正副班長・委員会、正副委員長、クラブ部長、副部長			25
	クラブ部長、副部長・会誌会報編集委員、社会奉仕委員			26
	4 2 期、4 3 期生徒名簿「所属班・学籍番号・氏名・住所（市町）」			27, 28
	編集後記	長 谷 川 祐 二	会報編集担当	裏表紙

「これから」

教務部長 荒井 勝浩



「ねんりん
みなみ」第四十
号発刊おめで
とうございま
す。

当南校が開
校四十年を迎
えていますの

で、開校直後からの発行を知り、創刊当
時の貴誌に軽く目を通してみました。当
時主流のB五版、藁半紙のような山吹色
が時の長さを感じさせます。寄せられた
寄稿文や授業・クラブ活動等折々の風景
写真からは、ページをめくるにつれて魂
のようなものを覚え、諸先輩方があつて
今があることを胸に刻みます。同時に、
今後デジタル化と共にこうした風情がな
くなっていくであろうことに、ふと寂し
い気持ち心がよぎります。

さて、学生の皆様が多くの時代を過
した昭和から二つの年号を生き、社会は
大きく変貌しました。出生率の低下や止
まらない転出超過により、本県の人口も
減少の一途を辿っています。子供の頃に
居たガキ大将はもはや居なくなり、人付
き合いを幼少期から身を持って体験する
機会も殆どなくなったと言われます。

人の接点が乏しくなる中で顕在化する
様々な社会問題。その解決に向けて今、
「地域」に焦点が当てられています。求

められるのは地域社会のコミュニティを
再生するためのリーダーシップ。生きが
い推進員の活躍が期待されるフィールド
が今後益々広がることを予想します。

総勢三千七百人を越える南校卒業生の
足跡を胸に。ささやかに、誇りをもって、
展望を拓いて行くこうではありませんか。

『実りある人生に向けて』と題された
ある一般授業での一コマ。(講師が質問
「今さら」ではなくて反対の言葉として
何？(一人の学生が即答「これから！(講
師)そのとおり。

四十年前。思い起こせば、学生の皆様の
殆どが、例え意識はしていなかったとし
ても夢と希望に満ち溢れていたのではな
いでしょうか。そして今、学校で皆様の
熱気に触れるたびに、それが蘇っている
ことを感じずにいられません。

会誌会報編集委員会

令和四年度の活動計画等

会誌会報編集委員長 笹倉 政雄

本年度は、第四〇号『ねんりん』を令和
五年二月に、第二九号『年輪みなみ』を
令和五年八月に発行予定です。今年度の編集
委員は、四二期一・二名、四三期一〇名にて、
作業を分担しながらの発行を目指します。

ちなみに、『ねんりん』の創刊号は、昭和
五八年七月二八日に、B四番四ページで発
刊されました。当時のシルバー大学の名称
は『栃木県老人福祉大学校』であり、第一

期生は六〇名でした。期間は、今と同じ二
年間でした。

全員の文芸作品が掲載されたのは、平成
二年四月一日付の第八号からでした。また、
A四版サイズになったのは、平成一六年二
月七日付の第二三号からです。発行日は
徐々に夏から冬へと早まって、現在の二月
が定例化してまいりました。全員の名簿が
掲載されたのは、平成二五年二月一日付の
第三一号からです。

昭和五七年一〇月一日に開校した南校の
自治会長で女性は、昭和六一年四月一日付
四号のお一人だけでした。女性の進出を望
みます。

今回『ねんりん』の歴史を紐解いたところ、
実は、昭和五八年三月一日付で、中央
校第三号及び南校創刊号の合併号が別途発
刊になっていました。この号は、自治会総
会の資料が主な内容でした。また、残念な
がら第三〇号が保存されていませんでした。

創刊号表及び裏表紙



創刊号二ページ及び三ページ



社会奉仕委員会

令和四年度の活動計画について

社会奉仕委員長 只木 弘子

社会奉仕委員会は、学校内の環境美化を
進めるため、四二期生二四名・四三期生二
〇名・計四四名で構成されています。活動
計画は次の通りです。

構内に配置してあるプランターに、一一
月にパンジーの植栽、三月には、マリーゴ
ールドの植栽です。

今年度は、一一月一四日にパンジーの植
栽を終えて、植栽後の水やりを当番制で行
っています。一二月には、全校生による校



内除草及び清掃を行う予定です。今年度は、一月一四日にパンジーの植栽を終えて、植栽後の水やりを当番制で行っています。二月には、全校生による校内除草及び清掃を行う予定です。全校生による校内除草作業及び清掃は、令和五年度の三月、五月、七月にも行う予定です。

これらの活動を実施することで、生徒間のコミュニケーションを図り、構内美化を推進し、本校が、楽しい学びの場となるよう努めたいと思っています。

どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。



四三期生 学習紹介

入学しての抱負

シルバー大学校に入学して

Aグループチーフ班長 永島 保男



私は現在、週三日、介護老人保険施設で利用者を送迎する運転手として働いています。地域では、土曜日は高齢者の健康づくり・認知症予防のための事業をお手伝いしています。また、朝は週二日ほど、小学生の登校時の見守りをしています。

私がシルバー大学校に入校しようと思ったのは、幅広い人との交流や、さらなる地域活動に繋がっていかれると思ったからです。入校して、班長、グリープのチーフ班長、自治会役員等にもなり、三つ入ったクラブ活動も火曜日、金曜日と、週の予定がすべて埋まっている状況になっています。どこまでこの状況が続けられるのかと思いますが、全てを前向きに捉えて、生涯青春の心意気で、これからの二年間の学生生活を楽しく有意義に過ごして行きたいと思っています。

シルバー大学校への期待

Bグループチーフ班長 板子 喜好



会社勤めを終了して、よく、周りの人たちからいわれたのは、「暇でしょう、何をしていますのですか」という言葉。「色々、忙しくて、暇な時間はないですよ。」と応えようと、何人かの人には怪訝な顔をする。「忙しい」といっても、これまで、何らかの組織の一員としてやっていたことにくらべたら、個人の判断ですべて行っていることで、苦にはならないことがたくさんあるのです。

ところが、今年の四月までの二年間は、地元『墓地管理組合』の役員を担務することになってしまった。この期間に思ったことは、地域内のコミュニケーション不足特に元気なシルバー世代間のコミュニケーションがないことを痛感。

次に、一年前の新聞記事で、「デジタル化高齢者不安(デジタル格差)という表題で、総務省試算で100万人に支援が必要」という内容で、「活用支援要員」全国に、とありました。現在、まだ健康寿命があるうちに少しでも支援したいと思いながら、具体的な方法がわからず、また政府としても支援方法・体制を明確にしていない状況。そこでとりあえず一般的なシニア支援の具体的な方法論等の知識を授けていただけるので

は、との思いと期待でシルバー大へ入学することを決めました。
 今年は、『青春ってすごく密なので』というフレーズが脚光を浴びましたが、私は『シルバー世代はもつと濃密な時間を過ごして欲しい』と思い、そのための幾分かの助けができればと思います。少しでも、この期待、思いを実現するために努力を重ねるつもりです。

くボランティアは人のため、
 そして自分のためく

Cグループチーフ班長 中田 博



私はボランティア活動は人のため、そして自分のためにするものだと思っています。社会の役に立ち、更に自己啓発や自らの成長に繋がるからです。そのためには、シルバー大学校で知識・教養を学習し、地域社会に貢献していきたいと思っています。
 どうぞ皆様のご指導・鞭撻をお願いいたします。



くシルバー大学校に入学してく

Dグループチーフ班長 松岡 勝春



シルバー大学へ入学して早二ヶ月になろうとしている。入学の目的は「心身共に健康であれが最大の目的である。夫婦で入学し、人生の中でこれからの半生を楽しみたい思いである。色々な講義、及び倶楽部活動、スケジュールが瞬く間にカレンダーを埋め尽くしてしまつた。そして倶楽部活動の役選定、役員選定に関しては同期の皆さんの協力が不可欠になってくる。楽しみが苦痛になっては入学した意味がないと思い、選定は入学後三ヶ月位に選定した方がよいと思いました。倶楽部活動は、これからの限らない時間を如何に上手く使いこなしていくかは、自分の努力につながることであり、どのような努力にむかふも自分次第である。また人とのつながり、初対面は誰しも無口、でも不思議なこと二回目、三回目になるにつれ、言葉が交わり、冗談が言えるようになる。お互いが打ち解け、楽しさが見えてきそうな気がします。

くシルバー大学に入学しての抱負く

Eグループチーフ班長 大谷 巧



退職後の約十年間の学生生活も終わりに近づいた頃、こちらに移り住んでから三年以上の年月が経つのに地域のことを全く知らずに過ごしてきたことに気づきシルバー大学入学を決めた。
 正直なところ、入学前は独居老人である九十四歳の父親の介護の参考になるようなことが学べればよいとくらいにしか期待していなかったが、大学の設立の趣旨が地域活動の推進者の養成であることを知った。
 私の周囲には熱心な地域活動を行っている方が多いのに対し、私はこれまで机の前に座る生活しかして来なかったので少々不安になったが、いざ入学して全く経験のないクラブ活動や自治会活動に参加してみると、これまでの生活リズムが一新され、空白だったカレンダーが毎日のように予定で埋まるようになった。
 最後に、目下の抱負としては、大学の設立趣旨とは外れるかもしれないが、自分で打った出石蕎麦を肴にして、宮津節を唄いながら親父と一杯やることである。(ちなみに筆者は民謡部と蕎麦打ちクラブに所属している)



クラブ活動紹介

クラブ活動紹介コーナーです。皆さん、クラブを楽しんでいますか？
当コーナーは、各クラブの部長が、クラブの魅力や活動状況を紹介しています。
充実した学校生活や、卒業後もより豊かな人生を楽しむために、いろいろなクラブへの加入をお勧めします。ぜひ、クラブ選び・入部の参考にして下さい！

パソコン



「出来ないよりは、出来た方が」

部長 市村 典子

今や、一人に一台、スマホを持つ時代。でも、ちょっと待って。どんなにスマホを使いこなしてもパソコンでなくちゃできない良いことがあります。前年度から引き継いだ絵画資料を作成したり、写真を取り込んでパンフレットを作るとなると、やっぱりパソコンが便利です。

パソコンクラブは三つのコースに別れて活動しています。初めてパソコンに挑戦する方のための「入門コース」では、電源を

入れることから始まります。マウスのクリック、ダブルクリック、ドラッグの繰り返し練習。ローマ字で文字を打って、少しずつパソコンに親しんでいきます。「基礎コース」は、キーボードで文字入力出来るけれど、ワードやエクセルの便利な機能を使いこなせていない方。子供や孫に頼らなくても自分で文書を作成する事を目標としています。「ノウハウコース」は、より高度なテクニックにチャレンジです。卒業発表に向けて、パワーポイントで華麗でスタイリッシュな発表なんていかがでしょう。

ぜひ、今からでも少しずつ新しい事に挑戦してみませんか。「出来ないよりは、出来た方が」きっとあなたのパソコンの世界が広がります。

囲碁・将棋

囲碁・将棋を楽しむ

部長 小森 一彦

囲碁・将棋は、二千年以上も前に発祥し、日本に伝来しました。

紫式部や清少納言の作品にも数多く登場しています。戦国時代には、織田信長など多くの武将が楽しみ、夢中になったものです。

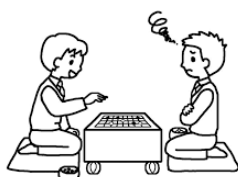
知らない方からは「なんとなく難しそう・・・」というためらいの声が聞かれます。一度は覚えようとしたけれど、面白さがわかるまえにやめてしまった方もいるでしょう。確かに、最初にクリアすべきハ

ドルはあります。でも、決して高くありません。

入部された方の六割は初心者です。初心者の方には、講師の先生が面白くわかりやすい指導をしてくれます。半年もたてば、先輩や経験者の方との対局が楽しめるようになります。

頭の体操にも良い囲碁・将棋を和やかな雰囲気の中で楽しんでみませんか。

初心者の方、女性の方大歓迎です。皆様の入部をお待ちしています。



書道

続けると何かが見えるかも？

部長 長谷川 祐二



書道は静かな空間で墨の香りを感じながら目の前の文字を書く事に集中します。徐々に心が落ち着いていくのを感じます。慌ただしい日常から少し離れる事ができ、リフレッシュ、ストレスの解消にも良いと思います。指導者は書道家の先生をお招きし、毎月 楷書、行草書、実用書等のお手本を書いて頂き勉強しております。勉強といってもただ書くだけでなく、起筆、送筆、収筆、墨液種類、筆の構造、硯、書の歴史等有机会がある毎にきめ細かく、説明して頂き充実した時間を過ごしております。

絵画

仲間と絵を

部長 田澤 志津江



スケッチブックと鉛筆、筆と絵具が有れば、どこでも手軽に楽しめる趣味です。

毎月三回、第一、第二、第四月曜日の午後一時から三時まで、第三教室で行っています。栃木市の書道団体である「書友会」に入会しており、その機関誌の「書友」は課題作品を提出しますと審査を受けて、昇級・昇段することもできます。「書友」の競書成績の楷書部、行草部の欄に氏名が掲載されます。励みになります。見学に来てみませんか、大歓迎です。

社交ダンス

社交ダンスの魅力

部長 関谷 清一

一人でも出来ますが、せっかくですから絵画クラブに入って、先生、OBの指導を受け仲間との交流を図りながら、写生や美術館巡り、旅先で出会った風景、庭の草花等を絵にしてみませんか？興味のある方始めてみましょう。

絵画クラブは毎月第一、第三火曜日午前中、先生の指導を受け活動しています。どなたでも大歓迎です。入部お待ちしております。

社交ダンスは単なる娯楽ではありません。社交ダンスの魅力は、体を使うので心肺機能が強くなる、姿勢がよくなる、ストレス解消につながるなど様々な健康効果が期待できるスポーツです。

社交ダンスを楽しんでいる方々の年齢層は六〇〜八〇代の方が多く、誰もが生き生きとしています。まずは、ステップを覚え練習すれば結果が出て、美しく踊れるようになりますと楽しくなり気持ちいいですよ。

現在四二期生九名と四三期生四名で活動しています。新学期に入り初心者を対象に基礎から学んでいます。

目標をもって取り組みハードルを越えていくのは達成感もありとても楽しいものです。未経験者の皆さん、健康維持に繋がる大人の趣味として新たな自分にチャレンジして学生生活を謳歌してみませんか。



練習日は月曜日と水曜日です、入部お待ちしております。

陶芸

想いのままに

部長 手塚 代孝子



こんにちは、陶芸クラブです。
皆さんは幼き日に泥遊びに夢中になった事は有りませんか。時間も忘れて。

陶芸は、芸術センスがなくても、手先が器用でなくても大丈夫です。作品を作りたいという想いがあれば粘土がかなえてくれます。出来は確約できませんが？

自作のカップでコーヒーをのみ、自作のぐい呑みで晩酌をする。お皿や、花瓶等が生活を彩ります。

南校には、第四教室の奥に、とても立派

な電気焼成窯があります。

素焼きは八〇〇度、本焼きは一二〇〇度で焼き、窯出し時のドキドキ感は格別です。皆さんも味わってみたく有りませんか？

講師は、陶芸家の「毛塚養治先生」です。各地の窯元訪問もあります。もちろん作品も作ります。

さあ、皆さん、私達と共に和気藹々楽しく粘土で貴方だけの作品を作りましょう。お待ちしております。

卓球

動いて汗をかく健康になろう！

部長 鈴木 浩



卓球クラブの良いところは、一健康に良い

体を動かし気持ち良い汗をかき、ダイエットもできるので体に良いと間違いないです。私は退職後あまり動かなくなったこともあり、体のあちこちが痛くなりましたが、卓球を始めてそれがすっかり癒えました。

また、卒業後もOBや地域のクラブで続けられるので、一生のスポーツになります。二楽しい

明るく元気に和気あいあいとできるので、とにかく楽しいです。ナイスショットを打てるようになると爽快です。

三初心者指導コースがある。

指導者がいていねいに教えてくれるので、初心者でも少しずつ上手になります。

卓球クラブは、毎週月曜水曜の午後一時から三時まで体育館でやっています。見学、お試し入部も大歓迎です。是非お越しください。

写真

感動して貰える一枚の写真

部長 小曾戸 房雄

写真部は「見る人に感動して貰える一枚の写真」を目指しています。美しく・可憐な・幻想的・雄大さ・躍動感等、様々ありその感動から日々の喜びや幸せに繋げたいと思います。

活動日は、第一・第三・第五水曜日の午後です。撮影会は栃木市近郊へ出かけ、花や風景等を撮影します。読売写真クラブの江草講師が同行し、「構図」「カメラの設定

「等の指導して貰います。勉強会の一時間目は写真とカメラに関する基本を勉強します。二時間目は撮影会で撮った写真を紹介し合い、良い点・残念な点などの意見交換を行います。

最後にスマホも性能が向上し、魅力的な写真が撮れる様になりました。写真部で「感動の一枚」を一緒に撮りましょう。



カラオケ

「カラオケは健康増進効果あり」

部長 板橋 幹夫



皆さんカラオケクラブに入ってみませんか。初心者の方大歓迎です。

毎月二回、火曜日の午後一時三〇分から、二時間程度『カラオケ館栃木昭和町店』を利用して練習をしています。

カラオケには腹式呼吸で体感を鍛える、言葉と、メロディーの同時進行で、脳を活性化、ダイエット効果（一曲二〇キロカロリー消費）、血流改善で免疫力アップ、感情移入で豊かな表情にストレス減少などの効果があり、みんなで楽しく歌って心も体もリフレッシュしましょう。

何と言ってもカラオケには認知症予防にもなるということです。

是非入部して、大きな声を出してストレスを発散しましょう。

ゴルフ

健康ゴルフを楽しもう

部長 小林 恒雄



栃木市周辺には、ゴルフ場がたくさんあり、ゴルフを楽しむ人々には良い環境に恵まれています。コンペは近隣の安いゴルフ場を選んで毎月第三火曜日開催しています。ゴルフは、同伴者に迷惑をかけない心配される方もあるかと思いますが、楽しさ第一を目標としていますので気楽に参加可能です。青空のもと、たまに出るナイスショット、ロングパットカップインはスコアとは関係なく、忘れることができます。最近、多くの女性プレイヤーを見かけるようになりました。部員は男性ばかりと思われませんが、四三期女性二人が入部され

ソフトボール

和気あいあいでもるく楽しく健康に

部長 谷中 吉夫

部員数二名（四三期生三名含む）で、毎週水曜日午前中に本校から車で三分の距離の大宮グラウンドで練習を行っています。年間行事としては、市の大会への参加や中央校との対抗戦を春と秋に年二回実施しており、今後は年三回に拡大実施を考えています。

部員は、六〇歳代七〇歳代が中心ですが八〇歳超えの高齢ハツラツメンバも参加ソフトボールをそれ以上長い楽しみとするため、和気あいあい明るく楽しく、健康維持・体力増進・知識向上ストレス解消を目的としたクラブです。きつとメンバ自身は、年寄とは思っていないと思います。そのため、ランニング、ラジオ体操、ストレッチやこまめな休憩を考慮し、細やかな年齢相応の各個人にあつた無理をしない工夫をしつつ楽しみながら前向きに取り組んでいます。グラウンドで打って笑って一緒に青春しませんか。多くの方々の参加をお待ちしております。



コーラス

コーラスは人を豊かにする

部長 須賀 保典



コーラスの魅力は、体全体を使い、自分のパートを精一杯歌い込むことはもとより、相手パートの音を聞き、ハーモニーの美しさを確認できる。これぞ、醍醐味と考える。自分の体が、楽器となって音を創り上げるなんと素晴らしいことであろう。

講師の中山先生を中心に、毎月、第一、第二、第四金曜日に練習を行っています。まずは、体操から始まり、ボイストレーニング、そして、課題曲の練習へと進みます。課題曲は、季節にあった曲など、中山先生に選曲頂いた曲をパートに分かれて練習

し、その後、ハーモニーを奏でます。時々音程が取れないこともあります。上手くハーモニーが合うと何とも気持ちのいいものです。コロナ禍の中、発表の機会はシルバー大の演芸会をはじめとする、各事業でしかありませんが、大勢の前でハーモニーを奏でることはとても気持ちがいいです。皆さん、是非コーラスクラブに来て下さい。お待ちしております。

フラダンス

フラダンスで活き活きと

部長 伊藤 由美子



アロハー！

フラダンスって、ただ腰をふっているのだと思いませんか？実は違うのです。右から左へ、左から右への、体重移動なのです。そこに様々な意味を表す手の動きが付き、手と足、身体全体で人生を表現するのです。

音楽に合わせてゆったりと踊るうちに、身も心もほぐれていきます。理屈抜きに楽しめます。私たちシニア世代にはピッタリのクラブです。

講師は金賀先生。練習は第二・第四水曜日の午前一〇時から一二時です。動きの鈍い私たちに合わせて、焦らず辛抱強く教えてくださいます。それから、自主練習は第一・第三火曜日の午後一時から三時です。一緒に夢のハワイへ行きませんか！



ウォーキング

有酸素運動のウォーキングを

部長 橋本 誠

シルバー大学校南校の皆さん、ウォーキングクラブで楽しい体験をしてみませんか。今年の秋は里山でも紅葉が大変綺麗でした。そんな時、多くの友達と歩くことは、気持ちのリフレッシュ効果が得られ、生活習慣が改善されることが予想されます。

定例会は、月一度土曜日に設定され、公共交通機関を利用して移動し、目的地ウォーキング、おいしい食事を頂いて、三々五々解散となる。尚、下見は例会の二か月前を目途に実施しています。

部員数は四二期生五五名、四三期生一七名の七十二名です。

尚、健康維持目的にウォーキングを始めるなら二キロメートル以上の距離(三〇分以上)週三回以上目標にやったらどうでしょうか。ウォーキングの習慣づくりが大切です。それには自分のホームグラウンドを見つけて、パートナーと会話しながらかとか、リュック背負ってピクニック気分でも楽しみを取り入れて、水分補給を忘れないことも重要です。

皆さん、楽しいウォーキングで物見遊山を。



民話・語り部

民話を聴いて・語ってホッコリ

部長 小林 義男



四二期生の私と四一期生の先輩でクラブの存続について話し合っている頃、四二期生の一人と四三期生の五人の方が当クラブへ入ってくれるという情報をつかんで、これでクラブの存続について心配はなくなったと安心しました。本当に有難うございました。

我々は、今、第二金曜日と第四木曜日の月二回四一期生の先輩達と講師の先生を交えて一五時一五分から約一時間半の勉強会を実施しています。勉強会と言っても堅苦

しいものではなく和気あいあいと好きなことを言い合って過ごしています。

今年は、地元の老人クラブや老人ホームを訪問して、地元の民話(昔話)に地元の方言やお国訛りを加えて、栃木の民話として取り組んでまいります。

ご期待ください。

絵手紙

「孫にも褒められ、

楽しみながらの絵手紙を」

部長 中村 稔

四三期の四名の方に入部していただき、クラブ存続の危機を免れました。ありがとうございました。

根本先生は八〇才を過ぎていますが、絵手紙に対する情熱は三〇才代です。

我々もこの情熱に負けず、しかも楽しみながら絵手紙を描いてみましょう。

「努力は裏切りません」

さあ、先生に褒められるような絵手紙が描けたら、初恋の人に絵手紙を送り、青春を取り戻しましょう。

現在は八名の少数クラブですが、アットホーム的な雰囲気があります。まだまだ、少人数の家族ですが、もう少し家族を増やしたいので、入部をお待ちしております。



俳句

俳句は楽し！

部長 日向野 好司



俳句は五・七・五のたった一七音で表す世界で最も短い「有季定型詩」です。俳句というと敷居が高いとか、プレバトの厳しい添削を思い浮かべる方も多いかも知れませんが、それは誤解です。俳句は難しいものでも堅苦しいものでもありません。高浜虚子は「平明にして余韻のある句が良い」と言っています。

「閑けさや岩にしみ入る蟬の声」は、立石寺の全山覆うばかりに蟬が鳴き仕切り、次第に岩にしみ入る感じ、やがて心の底まで澄み渡る様な閑寂のひと時を感じ始めた。三百年前に芭蕉が詠んだ句が今も私達に瑞々しく伝わるのは、平明さと余韻故です。詠み手の思いや感動は『季語の力』と読み手の『想像力』で、大きくイメージが膨らむ。

民謡

らむ。そこが面白いのです。誰でも、何時でも、何処でも、何歳になっても楽しめ、これからの人生の杖ともなります。一緒に俳句を楽しみませんか。

民謡は心の故郷

部長 五十畑 さち



民謡は心の故郷と申します。若い頃は盆踊りや人が集まると、手拍子に合わせて民謡を唄ったり、聞いたりしたことが多くあったと思います。しかし、最近ほとんどなく、遠い存在になってしまった様な気がします。また、難しくて唄えないと言うことを聞きますが、決してそのようなことはありません。講師の先生が発声の基礎から

蕎麦打ち

蕎麦打ちで楽しく健康に

部長 森 勝

お蕎麦は健康食品として、日本の伝統食文化であります。

お蕎麦に含まれる栄養素である主にタンパク質、鉄分、ビタミン類、ルチン等が豊富に含まれ、中でも『ポリフェノール』の一種であるルチンは動脈硬化、糖尿病、脳梗塞等の「生活習慣病」の予防に優れており又、美肌効果が非常に高く気になるシミやシワ等の予防にも期待できます。

このような、お蕎麦を当クラブに入会し、楽しく蕎麦打ちをしてみませんか？

蕎麦打ち工程の流れを確認し、最終的には「自分蕎麦」を作り、家族と味わってはどうか。

毎月、第三月曜と第四火曜 第四教室に

丁寧な教えて下さいますので、自然と声が出るようになり、楽しく唄えるようになります。しかも、三味線・尺八・太鼓の生伴奏で唄うことが出来るのです。

お腹の中から声を出して唄う民謡は、健康にも非常に良いと医学的にも証明されております。脳の活性化やほろよい線対策などの筋トレで老化防止を図ることや新しい仲間との輪を広げることも出来ます。

毎月第一・二・四曜日の一〇時から和室で活動をしています。皆様の入部を心からお待ちしております。初心者大歓迎です。

て勉強会を行っております。

卒業生講師、四二期生の指導の元、優しく丁寧な蕎麦打ちが受けられます。皆さんの参加を心よりお待ちしております。



アフリカン&レッツダンス

レッツダンス！

部長 橋本 峰子

アフリカンダンスを知っていますか？アフリカンダンスとは、太鼓などの音に合わせて全身を使って、ダイナミックに踊るアフリカ大陸由来の伝統舞踊です。心と身体を開放し、特に下半身を使って踊るのが



ポイントです。
まだマイナーな踊りですがダイエット効果、ヒーリング効果、更にストレス発散開放と様々な効果が期待できます。
他の踊りよりも無理な動きが少ないので怪我や事故も少ないと言われています。
身体が硬い人にもおすすめです。
性別、年齢問わず誰でも楽しむことができます。
皆様も是非体験してみませんか。
一緒に踊ってシルバー大学生活を大いに楽しみましょう。

ギターハーモニー

ギターが好きな仲間たち

部長 永島 清次



南校で唯一、楽器の演奏を楽しむクラブです。

ギターの音色に魅せられて、弾いてみると入部された方がほとんどですが、初めはなかなか上手いきません。しかし、先輩方の熱心な指導で一年も経つと、綺麗な音色を奏でるギタリストとなります。

童謡、唱歌から、フォークソング、歌謡曲まで、幅広く合奏を楽しんでいます。

学校祭演奏の他、施設訪問を目指して月曜日の午前中が合同練習、水曜日の午前中

盆ダンス

盆踊りの輪に入りましょう

部長 阿部 道子

が個人練習と、週二日の練習日は楽しく、互いに教え合いながら練習に励んでいます。ギターの好きな人、それ以外でもキーボード、パーカッション等を演奏し、合奏に興味のある方も大歓迎です。
部員一同皆さんと活動できる日を楽しみに待っています。

子どもの頃、盆踊りの輪に入り踊ったことはありませんか？踊りの輪に入り、誰に習うわけでもなく、周りを見ながら手足を動かしているうちに、いつの間にか踊りの輪は幾重にもなり、その一員であることが嬉しかったりしたものです。

そんな楽しさを今でも味わっているのが、盆ダンスクラブです。

基本は、シルバー大の先輩でもある、藤間流名取の岸先生が優しく教えてくださいます。練習は、第一、第三金曜日、第二、第四木曜日の午後三時一五分から約一時間、大学二階の和室で練習しています。いずれは、ボランティアとして、高齢者等の施設に出向き、利用者の皆さんと一緒に楽しみたいと願っています。

和室から音楽が聞こえたら、踊りの輪に入ってみませんか、お待ちしております。



山を歩こう

安全に、大自然を楽しもう

部長 高瀬 政夫

私たちは、近隣にある低山を中心に活動をしています。皆さんが慣れ親しんだ山々を歩きますので、誰でも参加できます。決して高い山ではなく、日頃から見ている山を歩きます。

日々の生活を一時忘れ、時には、山頂から眺める四季折々の田園風景や遠くに見える山並みを見るときと満足できるものと思います。

安全第一を心がけ、山の経験が無い方でも気軽に参加できますので、一緒に参加しませんか。

当クラブは、月一回の日帰りの開催です。四二期生は、一五名。四三期生は、一九名の総数三四名が会員です。

皆さん。「一緒に山を歩きましょう」



竹絵

完成品は最高の贈りもの

部長 岩崎 和幸



竹絵と言われて「皆さんどう思われますか」。竹に筆と絵具を使って書いた絵を貼り合わせて、一つの完成品に仕上げたものだと思います。ところが、竹絵という完成品を見たらなんと、竹のみの素材を、原画から形を写し、その型紙を竹板に貼りカッター、紙やすり等で加工、鉄板の上で焦がし陰影で奥行きを出し、パーツを貼り合わせて完成させた白川郷の合掌造りが竹材だけで表現されており、私では無理だと感じたのが、ウソも隠しもない事実でした。でもそれ程のものが出来なくても、自分にも何か出来るのではないかという思いで

入部して、講師や先輩方の指導やアドバイスをうけ、ひとつの作品を作り上げた時の達成感と感動はわすれることのできないものとして、今でも脳裏に残っています。是非皆様の入部をお待ちしております。

ターゲット・バードゴルフ

フルショットの醍醐味

ホールインワンのそう快感！

部長 高 光雄

TBGとは簡単に言えば、羽根付きのボールにバトミンソンのシャトルを一回り大きくしたような形状をゴルフクラブで打ってかごに入れるゲームと言えます。

ボールはプラスチック製、羽根が付いているので、空気抵抗により飛距離が適度に抑えられ比較的狭い場所でも思い切りボールを打つ事ができます。

ホールに何打で入れるかを競い、全ホール合計打数の少ない人が勝ちとなります。ゴルフ用のピッチングウエッジ又は専用クラブ一本のみを使用し、ショットマットの先端にボールを乗せてショットし十八ホールを回ります。

技術面やマナーなどは、ゴルフとほぼ同じですが、通常のゴルフに比べ飛距離を抑え、狭く短いコースながらボールが軽量の為、風に左右される為技術をも要するスポ

ーツです。皆さんの入部お待ちしております。



太極拳

今現在の太極拳クラブ

部長 本橋 昭夫



太極拳クラブを紹介します。現在部員数は四二期生一名、四三期生二四人の二五名が所属しています。月三回体育館で練習を行っています。先生は栃木県武術太極拳連盟からの女性講師二名で一年生・二年生と別れての講習を受けています。

太極拳の目的は呼吸法により内面の気を養い、健康を保つことを目的としています。

す。体力に自信のない人でも誰でも出来る運動です。

太極拳の特徴は中国の武術の一つで伸びやかで大きくゆったりとした動作が特徴で連綿とした滞りのない動きの中に精神を集めて行うものです。

太極拳の効果としては健康の促進としての効果があり筋肉の柔軟性や安定した運動、睡眠の深化、身体のバランスの強化、転倒リスク低下などが期待できます。

心と体の健康作りの場として共に太極拳を通して、出合いを作り、健康を促進してこの学生生活をエンジョイしています。

健康マージャン

『ボケ防止』

部長 本田 行雄



五月にサークルとして始まり、七月にクラブになったばかりです。

現在会員は男性一〇人、女性三人です。健康マージャンは現金を賭けない、お酒は飲まない、タバコは吸わない、そして長時間やらない、それが健康マージャンクラブです。

マージャンは頭を使い、指を使うためボケ防止にもなり、今では高齢者の間でブームになっています。

昔を思い出して、楽しくゲームをしています。やりたいと思った時がやる時です。リーチ、一発ツモ、ドラ、ドラ満貫！気持ちいいですよ。待ってま〜す。

文芸 四二期生

俳句の部

スポーツレクリエーション学科

花（膳付）いたてた椿庭飾る
 一班 二二番 野田 笑子

菊祭り華やぐ心稲荷にも
 一班 五〇番 荒井 孝子

夕焼けにいそぎ我が家へ散歩道
 一班 六三番 田口 時雄

九輪草（みやま）深山の沢で季節（とき）を待つ
 一班 六七番 橋本 峰子

生まれきて春と出逢いし今日の吾

息子より送られし荷にじんわりと
 一班 七六番 山越 美恵子

公孫樹（いちよう）の葉扇子で応援運動会
 一班 九六番 長谷川 祐二

彼岸花稲の青さにはえまくる
 二班 二八番 須長 ちい子

裸の王様プーチンが御乱心
 二班 四七番 宮田 宏実

スポレクで心は軽く体は重く

いろはちる能楽堂で小督舞（こくぶ）う
 二班 五七番 國分 美津江

冬の朝健康気遣い犬と散歩
 二班 五八番 小島 正子

濡落葉色めくパンジーウオーキング
 二班 八三番 田邊 英子

摩天楼光の泉降誕祭

蕎麦よりも熱燗の湯気秋の雨
 二班 九三番 岩村 聡

桜舞う友と語らい小確幸（しょうかつ）
 三班 四四番 齋藤 京子

朱印に価値ある祈願菊まつり
 三班 四九番 新井 静子

クリスマス抗体検査機プレゼント
 三班 七三番 松嶋 敏子

この秋はシルバー大にドラマあり
 三班 八一番 小堀 義勝

亡き友を思い出させるコスモスよ
 三班 九一番 伊藤 由美子

コロナ癒え友の笑顔に癒やされる

健康づくり学科

干し柿に愛の呪文で増す甘さ
 四班 一五番 神永 庸子

ナイスショ落ち葉の下でロストかな
 四班 二四番 橋本 利雄

冬近し車もタイヤ履き替える

寒さきて庭に色づく紅葉かな
 四班 三七番 赤間 俊次

暗い朝防寒しつかり散歩かな
 四班 七五番 森 勝

空き家ふえ玄關落ち葉山となる
 四班 九七番 真壁 きみ子

秋そばは母の手打ちでセイロそば
 五班 一〇番 臼井 義雄

冬晴れに鯉に餌をやる親子かな
 五班 一九番 関 美智子

鏝阿寺（ばんなじ）で集う笑顔に寒桜

男体の眼下見おろしもう一度
 五班 四二番 岩崎 和幸

紅葉や傘に映しつ赤くなり

孫と行く靴の軽さや霜柱
 五班 六五番 只木 弘子

山車（やたい）去り囃子も消えて秋残る
 五班 九四番 笹倉 政雄

年の瀬の日だまりうれし布団干し
 六班 三三番 五十嵐 敏夫

空つ風干した布団に母のこえ
 六班 六四番 田澤 志津江

はずれ年今年の柚子は分けられず
 六班 八七番 清水 利通

初雪や手を上げ走る孫らかな
 六班 九五番 中山 勝

福祉学科

七班 五番 飯島 和子

草むらに潜むこおろぎ弱き音

木漏れ日にイチヨウ舞い散り輝いて

七班 九番 牛久 信子

紅葉路老いて歩けるしあわせよ

年の瀬のおせち作れるたのしきかな

七班 三一番 吉澤 幸枝

千歳飴折って分けあう双子かな

七班 五一番 五十畑 さち

朝霧が景色を隠す散歩道

七班 八〇番 葛西 壽司

秋祭り心が躍る笛太鼓

八班 三五番 中島 富子

夕焼けが影絵の世界へつれていく

コスモスや自分の色で咲き誇る

八班 五三番 大島 英司

顔を出すここに居るぞとヒガンバナ

冬の空日の出る前の影絵かな

八班 五六番 桑藤 幸子

外苑のイチヨウ並木に人の群れ

晴れわたる名木紅葉嵐山

八班 九一番 星川 千江子

一瞬のブルーインパルス秋空へ

九班 一一番 大塚 せつ子

温泉に浸かる贅沢もみじ山

ぬくぬくと猫と丸まる夢の中

九班 二五番 橋本 誠

奥山に声聴く鹿ぞ今は庭

校舎無き母校の紅葉掃く翁

九班 三九番 関谷 清一

秋まつり関羽張飛のぶつつけか

そばまつりテントの前に列の帯

九班 五五番 河村 敬子

那須岳の山頂に立ち秋を抱く

晩秋の風を導く琴の音

九班 六九番 原崎 友子

山茶花の花に負けじと学舎へ

日めくりのカレンダーうすく師走の日

九班 八六番 神永 幸子

赤とんぼ足裏見たり涅槃像

父の裾掴みて叫ぶ鬼は外

ふんふふれあい学科

一〇班 六番 飯島 敏明

家康も見たであろうか赤い月

ジョギング踏んで楽し霜柱

一〇班 三〇番 橋本 孝雄

山登りひとり遊びの秋の空

花冷えの蔵の街というところ

一〇班 三二番 阿部 道子

孫歌い新米食べて古希になる

一〇班 七一番 福田 俊明

寒い朝男体山は雪景色

一一班 一一番 小曽戸 房雄

シャッター押すたび季節変わりゆく

一一班 二〇番 黨 眞理子

コスモスの花は金平糖の色

夕闇にちるまうちるまう桜かな

一一班 二九番 高瀬 政夫

木漏れ日に山の姿を我が想い

夕暮れに木枯らしさそう今想う

一一班 三四番 永島 清次

学び舎に花植え替えて新学期

初ぞうり疲れ祖母の背七五三

一一班 四五番 中村 稔

孫たちと囲む夕餉はママの味

一一班 五二番 内田 敏子

貨物曳く金太郎雪の青森へ

一一班 六二番 須賀 保典

秋の色街は黄金に染まりけり

一二班 八番 板橋 幹夫

行く秋や茶碗あたたため茶の支度

冬の風老いの健脚自慢せり

一二班 一八番 小林 義男

気がかりが一つ片つき疲れ出る

髪を切るハサミの音が子守唄

一二班 二三番 中村 乃里代

綿あめも三年ぶりや秋祭り

あぶり餅玉砂利ぬらす秋の雷

一二班 四〇番 清田 和夫
小風吹く鍋に色彩り冬野菜

一二班 八四番 本橋 昭夫
朝焼けにくつきりみゆる筑波山

菊香る男体山に雪化粧

川柳の部

スポーツレクリエーション学科

一班 二三番 野田 笑子
変えられる未来と自分どおしたい

一班 五〇番 荒井 孝子
モンブラン笑顔にさせる石切場

一班 六三番 田口 時雄
超過密シルバー枠の予定表

一班 九六番 長谷川 祐二
じいじいと笑顔で呼ぶ声に頬緩む

二班 一番 小田 しのぶ
二年生第三希望当たったよ

スポレク科新しい友と楽しいよ

二班 七二番 星野 二美恵
あーんして昔ラブラブ今介護

三班 一三番 小野 純子
さりげない話題盛り上ぐ友の笑み

末永く続けと望むクラスの和

三班 四四番 齋藤 京子
学んだよ授業にクラブそしてLINE

三班 七三番 松嶋 敏子
鍋つつき顔を赤らめ胸踊る

健康づくり学科

四班 十五番 神永 庸子
サボテンのトゲより痛い股関節

四班 三七番 赤間 俊次
シルバー大今日も元気に朝起きる

四班 五四番 小島 マリ子
楽しいヨピンポン部活はずむ息

卓球に楽しさ見つけ流す汗

四班 七五番 森 勝
愛犬去り子猫二匹が癒しなり

四班 八八番 鈴木 浩
居眠りも国会終われば目覚めかな

防衛費財源なければさあ増税

五班 一四番 加藤 雅一
酒のんだなみだも飲んだ日本戦

奇跡だね三哲の一ミリ酒旨し

五班 六五番 只木 弘子
「どちらさん」施設の母の常套句

五班 八二番 須藤 和義
つかの間の家族団欒ワールドカップ

一目惚れマスク外せばただの人

六班 二一番 外塚 博信
シルバー大歳の差あれど今青春

インフルとコロナが怖いお正月

六班 三三番 五十嵐 敏夫
紙とペン見つかるまでに句を忘れ

六班 八七番 清水 利通
シルバーで花盛りなりゴルフ場

六班 九五番 中山 勝
マスク取り挨拶したらあなた誰

福祉学科

七班 一七番 熊倉 洋子
様々な〇活を経てシル活中

七班 四六番 野村 英二
オレオレサギバーちゃん黙って電話切る

勝てばオレの力負ければ
インチキ不正の力

七班 五九番 小林 恒雄
コンビニで今日も忘れてマスク買う

マスク顔今なら聞けるどちら様

七班 八〇番 葛西 壽司
祭りばやしみんなの顔が恵比寿様

八班 四番 須藤 松美
旅の中席譲られて老い自覚

孫と共に算数ドリル脳トレ

八班 一六番 久保 はつ江
みな元気これより他に幸せない

八班 九一番 星川 千江子
立ち止まりここに來たのは何をしに

九班 七九番 青木 あや子
夕食は塾で弁当受験生

ふんふんふれあい学科

一〇班 四二番 大高 光雄
ご先祖にピンピンコロリ願う朝

一班 五二番 内田 敏子
断捨離と言いつつ買い込む浅はかさ
二班 六二番 須賀 保典
アルバムは優しいときの妻だった

一二班 四八番 本田 行雄
スーパーで歩きハビリ押すカート

ニュースから旅行誘う手招きが

一二班 六六番 沼部 たか子

これ惚れるどころが違つか惚ける文字

あらどこだスマホ探しに黒電話



短歌の部

スポーツレクリエーション学科

一班 七六番 山越 美恵子
ひさびさに筆を持つ手のむずかしさ
枚数かさねため息つく

一班 四一番 市村 典子
知らんけど謎のカタカナZ世代舌が
まわらぬ六十代

ころぶたび血豆青アザでできるわけ
しきい階段冬のスリッパ

二班 二八番 須長 ちい子
レジ使用今のままでもよいのだが
次世代みすえ並びかえる

二班 五七番 國分 美津江
国宝展ボルシチ食べてほっこりと
過ぎゆく秋を友と語らう

二班 五八番 小島 正子
大掃除やろうと思ってみたものの
サークル忙がしまた先送り

二班 七二番 星野 二美恵
いちようの葉風にあおられふりしきる
黄色のジュータン色あざやかに

二班 九三番 岩村 聡
ゴール下逞しき腕でボール奪う
車いすバスケのポニーテール

三班 四九番 新井 静子
三の宮神社に映える大イチョウ
実家を見おろす守り神かな

三班 六一番 小森 一彦
解禁日三年越しのヒラメ釣り
乗船予約も時化で出られず

コロナ禍で練習不足あるものの
完走するぞフルマラソン

三班 八一番 小堀 義勝
二年間シルバー大の
学びもし仲間も増えて我卒業

健康づくり学科

四班 九七番 真壁 きみ子
人形山車地元の友の話し聞き
皆と楽しくそぞろ歩くよ

四班 三六番 長谷川 静夫
秋祭り数年ぶりに旗揚げる
揚げ方わすれ取説さがす

川霧の土手散歩はく息白く
朝日と共に浮かぶ気球

五班 一〇番 臼井 義雄
今年こそ柚子の木を詰め来る年は
素手で挽ぎ取る心のゆとり

五班 九四番 笹倉 政雄
赤黒き月に喰われし惑星よ
戦国時代いまだ終わらず

六班 二七番 加茂谷 肇
秋ふかし久慈と生瀬の富士やまに
遙か見下ろす袋田の滝

溪谷に紅葉流るる渡渉かな
友とつむぐ友愛のとき

六班 七八番 渡邊 正子
楽しみと不安と希望のシルバー大
もう卒業

まいにち日曜早三年コロナも一緒に
三年だ

福祉学科

七班 一七番 熊倉 洋子
秋まつり人形山車の絢爛に
昔を偲ぶ舟運の町

七班 三一番 吉澤 幸枝
紅葉狩り旅行雑誌に魅せられて
貴方と行きたい今度の秋は

七班 五一番 五十畑 さち
在りし日の義母の写真をながめつつ
共に暮らした年月想う

八班 一六番 久保 はつ江
寒風にりと咲きしありがとう
母と重なる越前水仙

八班 二六番 日向野 好司
迷い断つ若き阿修羅の眼差しは
哀しみの果て厳しく光る

万葉のラブソングハモる山の辺の
三年ぶりの息子との旅

八班 六〇番 小林 みつ枝
花風の香る道中出会う友
柔らかな笑み陽だまりに似て

天任せ晴耕雨読に思い馳せ
山茶花時雨も楽しみになり

九班 七番 飯島 初枝
もう少し吾子と暮らしたき母心
遺影の夫に語る霜月

毎日の日課となりし香を焚き
般若心経を供え暮らせり

九班 七九番 青木 あや子
三度目のアラム部屋に鳴り響く
布団が私を離してくれない

ふるさとふれあい学科

一〇班 三番 鈴木 誠
赤岩の花袋ゆかりの新田屋に
秋雨眺めつつ鰻食う

探しても出てこぬ本を二度買い後
ふいに見つかる口惜しさかな

一〇班 三三番 阿部 道子
涼風が汗ばむうなじを擦り抜ける
故人に出逢う高野奥院

一〇班 四二番 大高 光雄
ゴルフアアのスイングひとつ飛ぶときも
曲がって飛ぶも楽しい時間

一〇班 七一番 福田 俊明
秋深し実りの季節熟れた柿
来たよ棕鳥寂しさ募る

一〇班 七四番 宮地 正義
コロナ禍のボジョレヌーボ グラス手に
ロシア戦争終わりを望む

一〇班 九〇番 手塚 代志子
嫋々と琵琶の音ひびく夕べの会
敦盛しのぶ笛きこえくる

くろしろの石がとびかふ盤上は
心読みあう時間をへらす

二班 一二番 小曾戸 房雄
今日もまたうまく書けない日々続く
毎日学ぶ永字八法

二班 六八番 林 繁
世代越え集ふ人等の学び舎は
熱き血潮の今ふたたび

竿を差す舟船頭の小気味よき
今宵の月の川面に揺れて

二班 八九番 刀川 尚美
おいしいよ今日もあなたが言ったから
つくる気まんまん明日の夕食

からっかぜストール首に巻きなおし
一人つぶやくおでんが食べたい

二班 四〇番 清田 和夫

駅伝の疾走LIVE競う観て
一喜一憂個のパワー

文芸 四三期生

俳句の部

一班

六番 阿久津 成子
枯れすすき風耐え忍ぶねこ背かな

何願う天仰ぎ見るヒマワリよ

三三番 松本 千枝子
木枯らしに削ぎ落とされし鉢並ぶ

五一番 長谷川 住子
もみじ散りしげる秋草実を結び

秋の空急ぎ消えゆく夕明かり

五六番 神山 泰男
初茜遙か彼方にスカイツリー

七三番 田上 茂喜
冬の朝宝石のごときまどのつゆ

一〇一番 荻原 篤人
孫よりの年賀状は点と丸

風呂のなか地球はこれとえがく柚子

二 班

二番 黒田 長久
年の瀬を今年も元気に過ごす夜

二二番 大保寺 和子
小春日に母の耳かき寝息スー

三三番 星加 ひとみ
小春日にふと母思い墓参り

四二番 中尾 文子
肩の上秋刀魚食べるや猫の声

八二番 早崎 幸子
刈穂田に夕暮れ迫りサギ一羽

一〇二番 杉野 弘幸
冬の朝三十六度ない自分

寒波来るもう一度見るスペイン戦

三 班

一三番 大川 美智子
クリスマス光の中にある笑顔

雪の庭猫の足跡梅のよう

一四番 大貫 義見
全方位錦に染まる湯西川

二三番 高瀬 健二
シルバーで我が人生も京の紅葉

四三番 渡邊 君恵
冬あかね誘惑されし万歩計

六二番 板子 喜好
小春日にすずめにぎわう水浴び場

九一番 宮田 博文
逝き母の涙なのかし秋雨降る

孫巣立ちうれしさ半分寂しさよ

九三番 山野井 芳江
道端の山茶花の木が冬を待つ

七五三孫に締めたい蝶の帯

四 班

四番 青木 栄
夢に見た花咲く蝦夷地一人旅

三四番 森戸 信子
空き時間草花手入れ秋の空

あぜ道をスイススイと赤とんぼ

四一番 田村 裕一
霜柱踏んだ日々が懐かしや

四四番 厚木 伸彦
凧と共に男体山雪化粧

七七番 中村 信克
霜月の思えぬ光暖き

八四番 林 道枝
大皿に金目鯛かな伊豆の夜

九〇番 松崎 千枝
コロナ禍や挑む手作り柚子の酒

新薬に収束講う年の暮れ

九四番 鈴木 景子
渋滞が解けて無限の道と知る

病得てなお生かされて再生の今

一〇四番 野澤 文子
朝やけに仲間を募る渡り鳥

あま水や友だち作って太い川

五 班

一五番 大豆生田 清
お金たまってまた預金

たまたま積る雪の朝

三五番 谷中 吉夫
島の浜星月夜見て息を吞む

四五番 関口 優子
あかね雲笑顔の愛犬待つ玄関

六五番 大塚 清隆
一人より二人で眺める落葉なり

七二番 関根 容子
穏やかな日々が続いて気持ちよし

思いやり優しい気持ち大切に

七四番 館野 栄男
帰り道夕日に映る秋の富士

我が庭に目に付き所みかんあり

七五番 中田 博
セザンヌの彩に包まれ秋深む

九七番 上野 昌子
オイお前帰りの時間言っていけ

六 班

一番 今井 秀雄
ライティング水面に映える愛紅葉

二二番 五月女 絹枝
落ち葉吹くひらりひらりと山の風

山々にもみじトンネル目をみはる

二六番 野中 章雄
神橋の初雪払う巫女二人

猪苗代秋の夕暮れ湖面染め

四六番 田中 みどり
優しさと包容力の皇帝ダリア

八一番 橋本 陽子
遊水地野焼きの炎空も焼く

九六番 永井 秀治
白式部子らの手よりくれ緑に

一〇六番 齋藤 晃明
あかもみじ早い日暮れ散歩道

名月や気もそぞろに帰り道

七 班

三九番 小林 利行
空の青山の茜とハーモニ―

五三番 稲葉 登
男体の雪溪愛し開山祭

一〇三番 館野 守
紅葉につられて孫と山歩く

八 班

八番 荒川 敬子
あまた

月食の隣にきよき星幾多

定年や銀杏黄葉を踏みしめて

一八番 川又 静枝
尾根あるきヤマリンドウの美しさ

三八番 小野寺 茂
雀たち皇帝ダリア花散らす

四八番 大橋 定男
三日月の隣にかがやく友の顔

天仰ぐ蒼に棚引く皇帝ダリア

六八番 国府田 芳江
青空に皇帝ダリアゆらゆらと

六九番 小杉 栄子
この道や行く人なしに秋の暮れ

月はやしこずえは雨を待ちながら

七八番 中村 光子
こうようみと

散歩道紅葉見惚れ足止まる

九八番 黒川 孝一
肩口で休みたりける赤とんぼ

葉が落ちてどうだん垣の南天かな

一〇八番 高野 順子
紅葉の間に映える飛行機雲

九 班

一九番 佐藤 修司
幼子や真似して踊る秋祭り

五八番 池田 勝子
何を語るか指先の赤とんぼ

えりまきで肩の子あやし夜深む

八九番 松岡 美代子
紅葉色心燃えて若返り

十 班

一〇番 宇佐見 勉
庭先に柚の実しだれ指うづく

二〇番 鈴木 妙子
ほうば

孫二人りんご頬張る元気あり

シクラメン心が和む幸せか

三〇番 速水 扶佐枝
やって来る鳥を見たさに柿残す



五五番 飯田 利男

出勤のフロントガラス赤い満月つき

コスモスの色さえ見える朝の風

六〇番 石田 美鈴

四季巡り新米食し想う去年こぞ

師の声はもはや子守歌か小春日和

八〇番 縫村 勝男

晩秋日差しをあびて吊し柿

一〇〇番 稲葉 和己

水鏡山女の波紋錦食むみずかがみ

一一〇番 田中 博子

山茶花の敷き詰む庭の華やぎぬ

川柳の部

一班

六六番 大森 真由美

木洩れ陽の心穏やか涙ぐむ

一〇九番 高橋 恵美子

鏡みてしみしわくすみどちら様

二班

二番 黒田 長久

還暦を過ぎて学生感無量

二三番 大保寺 和子

ブラボーでにわかファンも活気づく

三三番 星加 ひとみ

友に逢いついつい弾み周り見る

一二番 三浦 秀彦

一週間見逃し配信見逃がして

登校日近づくとも増えるラインかな

三班

一四番 大貫 義見

遅い私の前はガラガラ後ろは渋滞

四三番 渡邊 君恵

すき焼きが出番まだねとかくれんぼ

四七番 松本 みさ子

老犬と暮らせし夫婦寄り添いつ

なばなには青虫たちの世界あり

六二番 板子 喜好

ミサイルに容認不可よことばだけ

六三番 稲葉 茂

初めてのカヤック乗ってびしょ濡れに

パソコンがいつになつたらわかるかな

九五番 永井 典子

衣替え今年は捨てる捨てまいか

うとうとついつい眠りこみこはどこ

一〇五番 安納 俊夫

互いの名考えながら長はなし

シルバー校あれこれそのちほう弁

四班

三番 和田 英雄

会社より会話少ない今の家

二四番 田中 禮子

歳老いて今日も元気に生きられた

朝早く観てよかったサッカー戦

七七番 中村 信克

このペース付いていけるか心配だ

八四番 林 道枝

ワクワクもパンダや象は尻を向け

五班

七番 荒川 和子

誕生日迎えることに嬉し悲し

冬ソナを見てない私今はまり

一二番 大垣 和枝

シルバーってグレー色からの進化系

四〇番 多田 滋

ドラレコをドラネコだよねと駄洒落。パパ

シルバー大マスクのおかげで女子大生

六五番 大塚 清隆

寝なくてはあつすも休みだわ日本戦

一二三番 森崎 姫子

日帰りで行ってみたいな天国へ

いい夫婦今じゃどうでもいい夫婦

六 班

四六番 田中 みどり

散歩道今日も元気でありがとう

季節の花と鳥のさえずり

五九番 石川 悦子

笑い顔いつもたのしく年かさね

散る花を追うことなかれ月あかり

九六番 永井 秀治

もみじやまライトアップであたたまる

七 班

二五番 谷崎 芳子

ドンドンとのぼるのぼるは我が身体

三九番 小林 利行

今どこへ理想比率の暇と金

一〇三番 舘野 守

肌寒き年々感じ冬の朝

八 班

三八番 小野寺 茂

何思いミサイル飛ばす北の国

六八番 国府田 芳江

ブラボーで心ひとつに盛り上がる

七八番 中村 光子

小犬見て可愛いしぐさに抱きしめる

八八番 松岡 勝春

シルバーのやる気その気の心意気

九 班

一九番 佐藤 修司

スーパーは妻が先生セルフレジ

二八番 橋本 利行

暮れ近く下りて^{くだ}楽し^{たの}学び舎^やに

三七番 石川 ナミ子

うれしいネ自分ファースト過す日々

四九番 鈴木 充子

古希すぎてうれし恥ずかし新入生

通学路左折さがして遠回り

六四番 大谷 巧

入学後空白カレンダー真つ黒になり

八六番 細田 治成

あみだくじ役員決まり苦笑い

賑やかに心通わすシルバー大

九九番 山口 哲

みなみ校ふれあい多き学びの場

十 班

一〇番 宇佐見 勉

定年で大型連休超がつく

三〇番 速水 扶佐枝

目が合ったやつと逢えたかマヌルネコ

五〇番 藤平 幸代

久々の俳句の課題苦戦する

八三番 早崎 善洋

川柳さかだちしても出てこない

がんばるぞこの大学出るまでは

九二番 山崎 綾子

初クラブ一振りで体幹に良き感触あり

通学路日光連山にアオサギ元気出る

一〇〇番 稲葉 和己

同じなの昔シナチク今メンマ

一一〇番 田中 博子

朝悩み昼夜悩むスマートフォン

短歌の部

一班

三三番 松本 千枝子
軒下につるし大根うらさむし
日に日に老いるわが身を映す

五六番 神山 泰男
体力を測ってみればもう少し
行けると思い肩腰に来て

六六番 大森 真由美
義理の母健診結果見せてきて
あなたの御陰感謝状

七三番 田上 茂喜
立ちこめる朝もやの中光浴び
浮かびあがるあなたのすがた

二班

四二番 中尾 文子
ヨイショと我を忘れて無意識に
ありがたきかなヨイショパワー

五二番 葉山 啓子
白い息娘と二人カサコンと
赤や黄色の色どりの道

舞い降りたかれ葉の上に陽の光
ぼたりと落ちる朝霧のつゆ

七〇番 小袖 初恵
めぐり合い楽しき時をふたたびと
君のまなざし歩みすすめる

ふたたびの出会いもとめて歩みゆく
君のまなざし君のうたごえ

八二番 早崎 幸子
ベルト穴一つ縮めてほくそえむ
君の姿は鏡の前に

三班

三二番 福田 照美
腰痛の痛みを耐え子守する
抱っこせがまれ菓子で気を引く

赤とんぼ風に飛ばされ家の中
待つてましたと爪を出す猫

四班

三番 和田 英雄
孫が呼ぶジイジイの掛け声で
我が身忘れてともに遊ぶ

四一番 田村 裕一
夕闇に灯り幾重に瞬いて
師走の街に皆が行き交う

四四番 厚木 伸彦
晩秋の登山道の吹き溜まり
踏み分け入りて音を楽しむ

五班

三五番 谷中 吉夫
横から刺さる砂つぶて固く
薄目を開けながら誰も居ない
観光名所の島の浜に立つ

六班

一番 今井 秀雄
御庭守保存活用デザインは
高校生と市民の墨書

八十番 橋本 陽子
子どもらは絵文字だらけで読めない
親のラインに返事なし

七班

二五番 谷崎 芳子
笑み浮かべ見上げる山車の秋祭り
永遠に続く祈るなり

五三番 稲葉 登
酒なみだ男と女巡り会い
愛しき君へ昭和の歌

八班

二九番 早川 賢一
ハナミズキ枯葉舞いつつ古枝にも
春は間近と花芽持つ

ドライバー年々落ちる飛距離でも
友と笑顔で楽しいゴルフ
大学に思いを寄せて問ぐぐり
決意新たに新入生

一〇八番 高野 順子
八年のつきあいありき縁日金魚

怯けしさびしさ独居に満ちる

九班

九番 荒川 千枝子
今年もね心密かにツバメの巣
我が家ではなくお隣さんに

ハムスター実家の庭に埋葬し
ほっと安心都会の息子

二八番 橋本 利行
神無月まろび入りたるシルバ太
ひとりがふたりふえる友かな

三七番 石川 ナミ子
はりきって出る出るおぼけどこにでも
今日行く所今日の用事

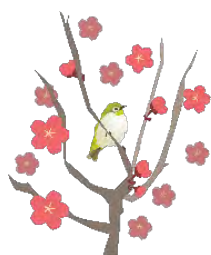
六四番 大谷 巧
一年生孫は金色ランドセル
吾は銀色大学生

八九番 松岡 美代子
コスモスにわが身をうつしうつとりと
歳を忘れて再挑戦

九九番 山口 哲
シルバーが気持ちも若く集まつて
みんなで学び笑いもふえる

十班

五〇番 藤平 幸代
あこがれの我が耕作地豊作で
今は荒れ地で草紅葉なり



理事			監査		会計		総務			副会長				会長
部長 二七名	委員 長 二名	班長 二二名	43 中田 博	42 森 勝	43 大谷 巧	42 五十畑 さち	43 永島 保男	42 小林 恒雄	42 岩村 聡	43 舘野 守	43 田村 裕一	42 刀川 尚美	42 手塚代志子	42 鈴木 浩

2、自治会役員

事務	教務		教務部長
小野口 裕子	早乙女 康夫	坂本 真希	荒井 勝浩

1、学校職員

43期生										42期生										学年		
E		D		C		B		A		ふるさと ふれあい			福 祉			健 康 づ く り			スポーツ レクリエーション			学科 グループ
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	班
早崎 善洋	● 大谷 巧	● 松岡 勝春	舘野 守	仁平 充男	● 中田 博	田村 裕一	● 板子 喜好	三浦 秀彦	● 永島 保男	板橋 幹夫	● 刀川 尚美	大高 光雄	関谷 誠一	日向野 好司	● 五十畑 さち	加茂谷 肇	加藤 雅一	● 鈴木 浩	小森 一彦	● 岩村 聡	田口 時雄	班 長
石田 美鈴	松岡美代子	中村 光子	稲葉 登	永井 秀治	舘野 栄男	野澤 文子	松本みさ子	小袖 初恵	阿久津成子	小林 義男	須賀 保典	飯島 敏明	飯島 初枝	中島 富子	葛西 壽次	清水 利通	岩崎 和幸	真壁きみ子	松島 敏子	星野二美恵	市村 典子	

3、正副班長

●チーフ班長

卓球	陶芸	社交ダンス	絵画	書道	囲碁将棋	パソコン	クラブ名
鈴木 浩	手塚代志子	関谷 清一	田澤志津江	長谷川祐二	小森 一彦	市村 典子	部 長
水井 典子	野田 笑子	高野 順子	刀川 尚美	原崎 友子	神永 庸子	宮田 宏実	副 部 長

5、①クラブ部長・副部長

社会奉仕 委員会	会誌 編集委員会	委員会名
只木 弘子	笹倉 政雄	委員 長
大川美智子	白井 和子	副 委員 長

4、委員会・正副委員長

太極拳			絵手紙		民話語り部		ウォーキング		フラダンス		コーラス		ターゲット・バードゴルフ		俳句		ゴルフ		カラオケ		写真		クラブ名	
本橋 昭夫			中村 稔		小林 義男		橋本 誠		伊藤由美子		須賀 保典		大高 光雄		日向野好司		小林 恒雄		板橋 幹夫		小曾戸房雄		部 長	
荒川 和子	田中 禮子	小島 正子	田上 茂喜	日向野好司	川島 維央	清水 利通	外塚 博信	中尾 文子	内田 敏子	小林 恒雄	細田 治成	本橋 昭夫	板橋 幹夫	黒田 長久	大島 英司	中村乃里代	副部長							

5、②クラブ部長・副部長



クラブ名	部長	副部長
民謡	五十畑さち	神永庸子
蕎麦打ち	森勝	長谷川静夫
アフリカン&ダンス	橋本峰子	星野二美恵
ギターハーモニー	永島清次	長谷川祐二
盆ダンス	阿部道子	田澤志津恵
山を歩こう	高瀬政夫	小堀義勝
竹絵	岩崎和幸	加茂谷肇
健康麻雀	本田行雄	飯島敏明
ソフトボー	谷中吉夫	大塚清隆 黒川孝一

5、③クラブ部長・副部長

43期生										42期生											学年	
E		D		C		B		A		ふるさと ふれあい			福 祉			健康づくり			スポーツ レクリエーション			学科
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	班
稲葉和己	佐藤修司	荒川敬子	小林利行	野中章雄	多田滋	厚木伸彦	安納俊夫	杉野弘幸	荻原篤人	中村乃里代	内田敏子	手塚代志子	神永幸子	小林みつ枝	小林恒雄	五十嵐敏夫	笹倉政雄	森勝	小堀義勝	田邊英子	長谷川祐二	委 員

6 会誌会報編集委員

4 2 期																						学年		
ふるさとふれあい						福 祉						健 康 づ くり						スポーツ レクリエーション				学科		
12		11		10		9		8		7		6		5		4		3		2		1		
本橋 昭夫	沼部 たか子	林 繁	永島 清次	福田 俊明	阿部 道子	青木 あや子	河村 敬子	大島 英司	久保 はつ江	熊倉 洋子	飯島 和子	中山 勝	外塚 博信	関 美智子	只木 弘子	橋本 利雄	神永 庸子	伊藤 由美子	小野 純子	小島 正子	須永 ちい子	野田 笑子	川島 雅英	委 員

7 社会奉仕委員

4 3 期																学年				
E		D		C		B		A								学科				
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1											
飯田 利男	速水扶佐枝 仁美	舘野 勝子	池田 順子	高野 孝一	黒川 和代	佐藤 芳子	谷崎 陽子	橋本 陽子	田中みどり 昌子	上野 容子	関根 千枝	松崎 伸克	中村 健二	高瀬 美智子	大川 智子	日向野 薫	葉山 啓子	神山 泰男	臼井 和子	委 員

42期生名簿

班	学籍 番号	氏 名	住所 (市町)	班	学籍 番号	氏 名	住所 (市町)	班	学籍 番号	氏 名	住所 (市町)
スポーツレクリエーション											
一班 (8名)	2	川島 維英	足利市	二班 (8名)	1	小田 しのぶ	足利市	三班 (7名)	13	小野 純子	栃木市
	23	野田 笑子	栃木市		28	須長 ちい子	栃木市		44	齋藤 京子	佐野市
	41	市村 典子	栃木市		47	宮田 宏実	佐野市		49	新井 静子	小山市
	50	荒井 孝子	小山市		57	國分 美津江	小山市		61	小森 一彦	小山市
	63	田口 時雄	小山市		58	小島 正子	小山市		73	松嶋 敏子	小山市
	67	橋本 峰子	小山市		72	星野 二美恵	小山市		81	小堀 義勝	下野市
	76	山越 美恵子	小山市		83	田邊 英子	下野市		92	伊藤 由美子	野木町
	96	長谷川 祐二	野木町		93	岩村 聡	野木町				
健 康 づ く り											
四班 (8名)	15	神永 庸子	栃木市	五班 (7名)	10	臼井 義雄	栃木市	六班 (7名)	21	外塚 博信	栃木市
	24	橋本 利雄	栃木市		14	加藤 雅一	栃木市		27	加茂谷 肇	栃木市
	36	長谷川 静夫	栃木市		19	関 美智子	栃木市		33	五十嵐 敏夫	栃木市
	37	赤間 俊次	栃木市		42	岩崎 和幸	佐野市		64	田澤 志津江	小山市
	54	小島 マリ子	小山市		65	只木 弘子	小山市		78	渡邊 正子	小山市
	75	森 勝	小山市		82	須藤 和義	下野市		87	清水 利通	壬生町
	88	鈴木 浩	壬生町		94	笹倉 政雄	野木町		95	中山 勝	野木町
	97	真壁 きみ子	野木町								
福 祉											
七班 (8名)	5	飯島 和子	栃木市	八班 (8名)	4	須藤 松美	足利市	九班 (8名)	7	飯島 初枝	栃木市
	9	牛久 信子	栃木市		16	久保 はつ江	栃木市		11	大塚 せつ子	栃木市
	17	熊倉 洋子	栃木市		26	日向野 好司	栃木市		25	橋本 誠	栃木市
	31	吉澤 幸枝	栃木市		35	中島 富子	栃木市		39	関谷 清一	栃木市
	46	野村 英二	佐野市		53	大島 英司	小山市		55	河村 敬子	小山市
	51	五十畑 さち	小山市		56	桑藤 幸子	小山市		69	原崎 友子	小山市
	59	小林 恒雄	小山市		60	小林 みつ枝	小山市		79	青木 あや子	下野市
	80	葛西 壽司	下野市		91	星川 千江子	壬生町		86	神永 幸子	壬生町
ふるさとふれあい											
一〇班 (8名)	3	鈴木 誠	足利市	二班 (9名)	12	小曾戸 房雄	栃木市	二班 (7名)	8	板橋 幹夫	栃木市
	6	飯島 敏明	栃木市		20	黨 眞理子	栃木市		18	小林 義男	栃木市
	30	橋本 孝雄	栃木市		29	高瀬 政夫	栃木市		22	中村 乃里代	栃木市
	32	阿部 道子	栃木市		34	永島 清次	栃木市		40	清田 和夫	栃木市
	43	大高 光雄	佐野市		45	中村 稔	佐野市		48	本田 行雄	鹿沼市
	71	福田 俊明	小山市		52	内田 敏子	小山市		66	沼部 たか子	小山市
	74	宮地 正義	小山市		62	須賀 保典	小山市		84	本橋 昭夫	下野市
	90	手塚 代志子	壬生町		68	林 繁	小山市				
			89	刀川 尚美	壬生町						

42期生総勢93名

43期生名簿

班	学籍 番号	氏 名	住所 (市町)	班	学籍 番号	氏 名	住所 (市町)	班	学籍 番号	氏 名	住所 (市町)
Aグループ				Cグループ				Eグループ			
一班 (11名)	6	阿久津 成子	栃木市	五班 (12名)	7	荒川 和子	栃木市	九班 (11名)	9	荒川 千枝子	栃木市
	11	臼井 和子	栃木市		12	大垣 和枝	栃木市		19	佐藤 修司	栃木市
	33	松本 千枝子	栃木市		15	大豆生田 清	栃木市		28	橋本 利行	栃木市
	51	長谷川 住子	栃木市		35	谷中 吉夫	栃木市		37	石川 ナミ子	栃木市
	54	永島 保男	栃木市		40	多田 滋	栃木市		49	鈴木 充子	栃木市
	56	神山 泰男	佐野市		45	関口 優子	栃木市		58	池田 勝子	小山市
	66	大森 真由美	小山市		65	大塚 清隆	小山市		64	大谷 巧	小山市
	71	酒井 一行	小山市		72	関根 容子	小山市		86	細田 治成	小山市
	73	田上 茂喜	小山市		74	舘野 栄男	小山市		89	松岡 美代子	小山市
	101	荻原 篤人	下野市		75	中田 博	小山市		99	山口 哲	下野市
	109	高橋 恵美子	壬生町		97	上野 昌子	下野市		111	舘野 仁美	野木町
二班 (11名)	2	黒田 長久	足利市	六班 (11名)	1	今井 秀雄	足利市	一〇班 (11名)	10	宇佐見 勉	栃木市
	5	青木 茂	栃木市		16	笠原 通子	栃木市		20	鈴木 妙子	栃木市
	22	大保寺 和子	栃木市		21	早乙女 絹枝	栃木市		30	速水 扶佐枝	栃木市
	32	星加 ひとみ	栃木市		26	野中 章雄	栃木市		50	藤平 幸代	栃木市
	42	中尾 文子	栃木市		36	横山 くに子	栃木市		55	飯田 利男	佐野市
	52	葉山 啓子	栃木市		46	田中 みどり	栃木市		60	石田 美鈴	小山市
	70	小袖 初恵	小山市		59	石川 悦子	小山市		80	縫村 勝男	小山市
	82	早崎 幸子	小山市		79	仁平 充男	小山市		83	早崎 善洋	小山市
	85	日向野 薫	小山市		81	橋本 陽子	小山市		92	山崎 綾子	小山市
	102	杉野 弘幸	下野市		96	永井 秀治	下野市		100	稲葉 和己	下野市
	112	三浦 秀彦	野木町		106	齋藤 晃明	壬生町		110	田中 博子	壬生町
Bグループ				Dグループ							
三班 (12名)	13	大川 美智子	栃木市	七班 (11名)	17	片岡 稔	栃木市				
	14	大貫 義見	栃木市		25	谷崎 芳子	栃木市				
	23	高瀬 健二	栃木市		27	野原 順子	栃木市				
	31	福田 照美	栃木市		39	小林 利行	栃木市				
	43	渡邊 君恵	栃木市		53	稲葉 登	栃木市				
	47	松本 みさ子	栃木市		57	宮田 てる子	佐野市				
	62	板子 喜好	小山市		67	長田 満	小山市				
	63	稲葉 茂	小山市		76	長濱 信幸	小山市				
	91	宮田 博文	小山市		87	増田 壽子	小山市				
	93	山野井 芳江	小山市		103	舘野 守	下野市				
	95	永井 典子	下野市		107	佐藤 和代	壬生町				
四班 (11名)	105	安納 俊夫	壬生町	八班 (11名)							
	3	和田 英雄	足利市		8	荒川 敬子	栃木市				
	4	青木 栄	栃木市		18	川又 静枝	栃木市				
	24	田中 禮子	栃木市		29	早川 賢市	栃木市				
	34	森戸 信子	栃木市		38	小野寺 茂	栃木市				
	41	田村 裕一	栃木市		48	大橋 定男	栃木市				
	44	厚木 伸彦	栃木市		68	国府田 芳江	小山市				
	77	中村 信克	小山市		69	小杉 栄子	小山市				
	84	林 道枝	小山市		78	中村 光子	小山市				
	90	松崎 千枝	小山市		88	松岡 勝春	小山市				
	94	鈴木 景子	下野市		98	黒川 孝一	下野市				
	104	野澤 文子	下野市		108	高野 順子	壬生町				

43期生総勢112名

特設コーナー

教務の早乙女康夫さん

の退任に関して

会誌会報編集委員 長 笹倉 政雄

令和四年二月末をもって、我々学生の面倒を直接見ていただいた教務担当の早乙女さんが退任されました。

四二期は、一年三ヶ月、四三期は三ヶ月間お世話になりました。突然の退任のあいさつを受け、学生一同驚きましたが、次のステージでもご活躍されるとのこと、大変うれしく思います。

朝礼の場での告知の回数が多く、早乙女さんに手数をおかけした私は、一二月の退任挨拶で、早乙女さんが四二期と同時に南校に奉職したことを初めて知りました。

早乙女さんは、その事務の進め方や落ち着きから、もう何年も経験した超ベテランだと勝手に思い込んでおりました。

会誌会報作りで、前年の授業写真の取り扱いに関しての質問をした時の回答に違和感を覚えたことの原因を知ることになりました。

会報発刊と退職時期が重なったので、早乙女さんにも寄稿をお願いしました。

お世話になりました

早乙女 康夫



「ねんりんみなみ」第四十号の発刊おめでとうございます。

退職にあたり、ご挨拶の機会をいただいたものの、走ることと文章を書くことが何より苦手な私。こんなことなら下田先生の講義をしつかり聞いておけばよかった、と後悔しながら、この原稿に向かっています。

振り返れば、多くの方々に、教えられ、助けられ支えられた一年三カ月でした。

荒井支所長、いろいろご指導いただきありがとうございます。事に当たった的確な判断は、勉強になりました。

坂本さん、他に多くの仕事があるにもかかわらず、何を聞いてもいやな顔一つせず応えていただき、ありがとうございます。本当に助かりました。

小野口さん、急な変更などがあっても、間違いない授業の準備、ありがとうございます。

昨春退職された菊地前支所長には、何よりも私を採用していただきましたし、小太刀さんには、仕事のやり方など細かいところまで教えていただきました。

そして学生の皆さん、熱い思いとパワーをありがとうございます。日々の授業やクラブ活動などに、積極的に取り組む皆さん

の姿勢からは、大いなる刺激を受け、そしてとても大切なことを教わったように思います。それは、「人生を楽しむことの大切さ」です。七月の演芸会、本当に楽しそうな皆さんを見て心からそう思いました。よく言われる「きょうよう（今日用）」と「きょうい（今日行く）」の実践にとつて、シルバー大学校こそ、まさにうってつけの場だと思えます。縁あって入学し、知り合うことになった仲間たちとの時間を、有意義にお過ごしいただき、皆さんの人生をより楽しいものにしていくつてくださいます。あわせて、卒業後の地域でのご活躍を期待申し上げます。

寒い日が続きます、皆さんお健やかに。大変お世話になりました。

教務 坂本 真希

早乙女さん、今まで大変お世話になりました。

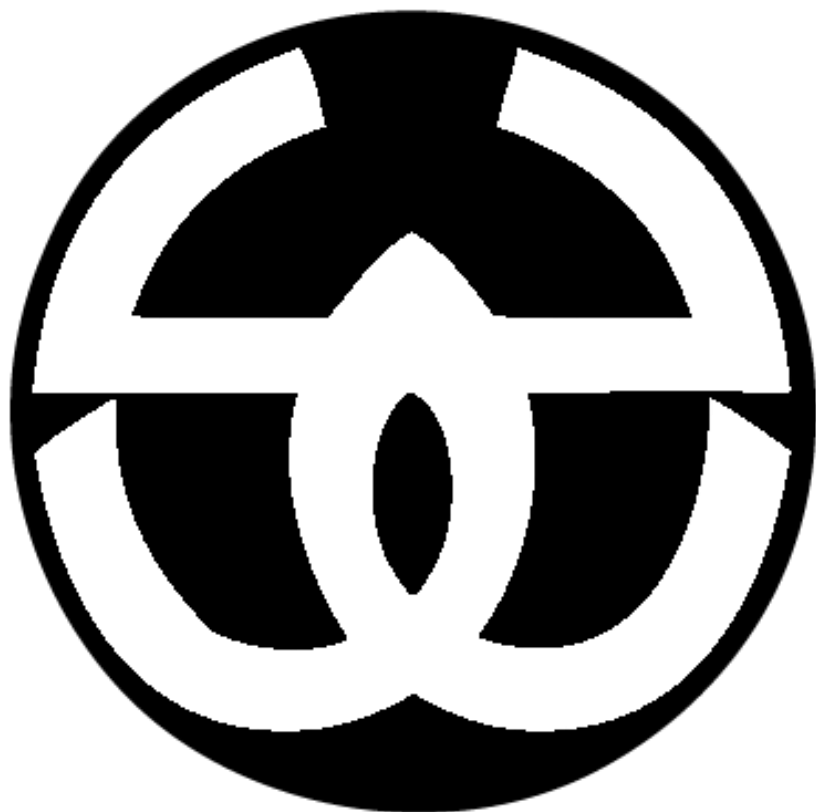
退職の話を聞いた日、とても寂しい気持ちになり、あまり仕事に手がつかなくなったことを覚えています。

新型コロナウイルスの影響による休校前は、どのように授業を実施していたかわからない中で、何事にも懸命に取り組む姿勢や学生からの相談に優しく対応する姿勢を尊敬していました。

一緒に働くことができた一年三カ月は、あつという間でした。これからも、心と身体健康第一に、健やかな日々を送れる事と併せて、今後の益々のご活躍を願っております。

事務 小野口 裕子

早乙女さんと一緒にお仕事をさせていただいてから九ヶ月と短い期間でしたが、大変お世話になりました。いつも困ったときに助けていただき感謝しております。また、お昼休み等には、趣味の釣りのお話を聞かせて頂いたり、とても楽しかったです。もう少し一緒にお仕事をさせて頂きたかったです。ですが、社会福祉のお仕事に再挑戦されること。大変なお仕事にもう一度チャレンジすると決断されたことに敬服いたします。早乙女さんの優しいお人柄や専門の知識、これまで積み重ねて来られた経験を活かして、ご活躍されることと思います。健康に留意され、益々ご活躍されることを心よりお祈りいたします。



編集後記

会報『ねんりん みなみ 第四〇号』を皆様のご協力により発刊することができました。

本号の発刊にあたり、荒井教務部長、鈴木学生自治会会長、手塚副会長、只木社会奉仕委員長、四三期チーフ班長、及び各クラブ部長の皆様、お忙しい中、原稿をお寄せ頂き誠に有難うございました。

併せて在校生の皆様には、文芸作品（俳句・川柳・短歌）を寄稿して頂き、重ねて厚く御礼申し上げます。人生経験が豊富で、社会の荒波を超えてきた皆様の作品により、会報『ねんりん』が無事編集・発行できましたことに、心より感謝申し上げます。

今回は、コロナ禍の中、部活動が中止になることもなく、ほぼ正常に登校出来できていることに喜びを感じながら、仲間との交流がより一層深められたことと察します。

最後に、本号を「栃木県シルバー大学校南校」における、学生生活の思い出のひとつにして頂けましたら幸いです。

当会報の編集及び発刊にあたり、各班の会誌会報編集委員の皆様には、積極的なご協力とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。